



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.7.29 No. 4036

貨物動乗勤12.3ダイヤ改阻止 9.18集会の成功がちとろう

ワケわら回 支部代

1 貨物動乗勤改悪・ 一二月ダイヤ改阻止 に向けて全力で闘おう

「JR貨物」中長期経営計画の「骨子」を提案
七月七日、JR貨物は、「中長期経営計画
の骨子」を提案した。

しかし前提的にとらえなければならぬことは、
この計画は単なる貨物の大合理化攻撃ではなく、
「分割・民営化」体制全体を抜本的に再編成しよ
うとする攻撃の開始としてとらえなければならぬ
ということである。

「分割・民営化」の最大の問題点は三点ある。
①膨れあがる一方の清算事業団の債務、②三島の
赤字体質、③レールのない鉄道会社＝貨物という
三点のうち、貨物会社のもつ矛盾が、貨物輸送体
系＝業務遂行体制の再編という形で顕れた。

今後、分割・民営化体制移行一〇年を境に、「
分割・民営化」の検証が行われ、その矛盾・問題
が公となることは必至である。加えて運輸省の主
張する「分割・民営化体制見直し」を含め、分割
・民営化体制の総体が問題となる。そして、その
しわよせはいずれにせよわれわれ労働者に転嫁さ
れることは明らかであり、この貨物にかけられて
いる攻撃は、その再編攻撃の突破口である。

貨物中長期計画は、具体的には三段階の全面
的な合理化計画である。

【第一段階】＝「緊急三カ年計画」(九四～九七
年度初) 八〇〇〇人体制の確立「二三〇〇名の要
員削減合理化」

【第二段階】＝(二〇〇〇年度初) 七〇〇〇人
体制の確立「更に二〇〇〇名の要員削減合理化」
【第三段階】＝(二〇〇三年度初)
という計画となっている。

(3) とくに、その突破口となっている第一段階の
「緊急三カ年計画」が当面最大の焦点となってい
る。
その概要は、

●取扱駅・運転士基地の見直し、駅・現業機関の
統廃合、機関車・貨車の削減、システム化、総合
鉄道部の拡大、外注・委託業務の見直し、管理部
門の見直し、退職金制度の改悪や若年退職制度の
拡大など、およそ考えられ得る首切りのための制
度改悪も含む大合理化計画である。

当面する最大の焦点としての貨物動乗勤改悪
と二・三ダイヤ改阻止

(1) 七月二六日貨物本社は、一二月ダイヤ改に
関する概要提案を行った。また、翌二七日動乗勤
手当に関する提案を行っている。また、東日本も
七月二一日一二月ダイヤ改に関する概要提案を行
っている。(全体として六六〇〇kmの列車キロ減。
首都圏と新幹線の輸送力強化と地方ローカル線の
さらなる切り捨てとなっている。「千葉支社にお
いても列車キロ減となっており、地交線のさらなる
削減か?」)

(2) 今後の時期的な進行状況としては、
七月二六日 貨物ダイヤ改概要提案
二七日 貨物動乗勤手当提案
八月二四日 東日本千葉支社ダイヤ改概要提案
八月下旬? 貨物「時短・動乗勤」集約の目
論み
九月下旬? 貨物・東日本ダイヤ改労働条件提
案

二・三ダイヤ改 という進行となっている。
従って当面
① 八月末の「動乗勤制度妥結」阻止の取り組
みを強化する。
② 職場討議を深め、定期大会で意志統一をは
かり、ストライキも含む闘いの方針を決定す
る。

2 九・一八労働者集会 の成功をかちとろう

急激な円高＝ドル危機、社会党を首班とする村
山政権の登場、さらには北朝鮮・金日成の死去と
朝鮮危機の一層の深まりのなかで、労働者・労働
組合の立場・闘いが問われている。特に村山政権

の登場は、労働者・労働組合に混乱と幻想をもた
らしている。しかし、資本主義のいきづまりのな
かで、ますます労働者に犠牲を転嫁する攻撃が吹
き荒れる状況のなか、闘う労働運動が一定の力を
もった勢力として表れることがより一層求められ
ている。
われわれは、この間全国一県内において取り組
まれた計四三箇所の各地域集会成功の上に、多く
の労働者・労働活動家の賛同を集め、大きな労働者
集会を開催する。
戦争と危機の時代を迎えるにあたり、動労千葉
として今後どう闘う組織を発展させていくのかを
かけた集会として「九・一八労働者集会」の成功
をかちとろう!

3 その他の闘いとして

I 清算事業団闘争勝利に向けた取り組み
昨年の中労委命令以降、国労に対する攻撃が強
まっている状況のなかで、国労の路線転換が始ま
ろうとしている。その焦点となっている「鉄道交
通政策提言」に対し、動労千葉は「問題提起」を
国労本部に行うなどの取り組みを行ってきた。清
算事業団闘争は、国鉄労働運動の宝である。清算
事業団闘争勝利に向けた取り組みを強めていく。

II 動労千葉定期大会の開催について
●一〇月一日一三時より二日正午まで
(大会終了後、例年通り全国物販担当者会議
を開催する。)

III 夏季物販闘争の大詰段階の取り組み
全組合員の奮闘により、目標まであと一歩とな
った。組合員目標二万円を貫徹しよう!

IV その他、組織強化・拡大の取り組み、八・一
津田沼支部不当配転事件地労委闘争、八・六ヒロ
シマー八・九ナガサキ反戦闘争、八・七狭山千葉
刑闘争などの取り組みを全力で闘おう!